

重大な事故防止に向けた安全対策

【 30 なぎなた 】

1 競技特性

「なぎなた」という長物(2m15cm～2m25cm)を繰り出し、繰り込み、持ち替え、繰り返しなどの動作をしながら、開き足、踏み替え足等体さばきによって、「なぎなた」という長物(2m15cm～2m25cm)を繰り出し、繰り込み持ち替え、振り返しなどの動作をしながら、開き足、踏み替え足等体さばきによって、相手と攻防を繰り返す中、技術を競い合う競技である。その運動は前後左右の直線の運動に終わらず、長物であることから、円運動の加速度を利用する動作が多い。敏捷、巧緻な動作を要求され、身体的、精神的にもかなり高度な修練が必要である。

また礼儀を尊ぶことを強く要求される。練習を休まず継続し、積み重ねることの大切さを理解することが大切である。競技年齢、修練の年齢が長く持続でき、生涯スポーツとして適切な競技である。生涯スポーツという特性もあり、高校生においては、練習する相手が幼児の時もあれば、高齢者の場合もあり得る。相手の年齢や熟練度にしっかき対応し、練習をしていくことが望まれる。相手を思いやる心や尊重する気持ちがとても大切な競技である。

2 想定される事故事例と予防策

(1) 主として施設・設備・用具が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> 床面の整備や点検不足 	<ul style="list-style-type: none"> 爪の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> 練習の前後に丁寧にモップがけをする。体育館などは各種支柱の蓋や器具取り付けの穴をビニールテープやラインテープでふさぐ。
<ul style="list-style-type: none"> 防具の保管状態 	<ul style="list-style-type: none"> 湿疹 かぶれ 異臭 	<ul style="list-style-type: none"> 防具使用後は、風通しの良いところに陰干しまたは保管する。 アルコール殺菌スプレーや消臭スプレーを使用する。
<ul style="list-style-type: none"> なぎなたの破損 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し傷 	<ul style="list-style-type: none"> なぎなたの先端は竹製なので、ささくれができて破片が落ちることがある。破片が足裏に刺さる危険性がある。練習の前後に手入れを欠かさないようにする。
<ul style="list-style-type: none"> スネ当ての破損 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し傷 	<ul style="list-style-type: none"> スネ当ての一部は竹製なので、割れてひびが入っていることがある。ささくれができて破片が落ちて、足裏に刺さる危険性がある。壊れる前に補修する。

(2) 主として活動内容が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> 足裏に水泡ができて、さらに練習を続けると破れ 	<ul style="list-style-type: none"> 足裏の水泡 足裏の皮膚の破れ 	<ul style="list-style-type: none"> 足の裏の皮膚が弱い初心者に多いケガ。薬品で消毒して清潔に保ち、テーピングしておく。さらに保護のため稽古用足袋を着用するようにする。
<ul style="list-style-type: none"> 未熟な者が、防具のない場所を打つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 打撲 	<ul style="list-style-type: none"> 基本にかなった打ち(姿勢、手の位置、手の内)の未熟や、相手との間がわからず接近戦が多い段階で起こりがちである。技術を向上させる。
<ul style="list-style-type: none"> 体さばきが悪く、姿勢と打ちが一致しない場合に、捻れが生じて膝に負担がかかり捻挫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 膝関節内側副靭帯捻挫 腰痛 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい体さばきができるように基本練習を毎日行う。
<ul style="list-style-type: none"> 打ち手でなぎなたを操作できず、添え手で打つために無理な力が腕や肩に掛かり筋肉痛になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 腕、肩の強度筋肉痛 	<ul style="list-style-type: none"> 打つ意識が強すぎると、添え手で打つことになる。基本練習を積み、打ち手でなぎなたを操作できるようにする。

(3)主として環境条件等が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none">梅雨の時期の床乾燥時期のなぎなたのささくれJアラート発令時の対応	<ul style="list-style-type: none">骨折	<ul style="list-style-type: none">湿気で濡れた床を乾かすよう、扇風機を回す。稽古前の各自への注意喚起発令時の対応や様々な場面での避難方法について確認し、事前に参加者等に周知しておく。また情報収集の手段や、関係者および保護者等との連絡方法について準備しておく。

安全確認チェックリスト

【 30 なぎなた 】

競技会名	
期 日	令和 年 月 日 ()
会 場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設・ 設備・ 用具	床は安全か	
	床板に亀裂や隆起はないか	
	支柱用の金具はふさがれているか	
	なぎなたが、ささくれしていないか	
	面紐、小手紐、胴紐は切れていないか	
	小手の内皮は破れていないか	
	防具に破損はないか	
	稽古着、袴、防具は体に合っているか	
活動 内容	状況に応じて足袋、サポーターなどを使用しているか	
	体調の悪い選手、けがをしている選手はいないか	
	着装は正しいか	
	無理な姿勢で稽古をしていないか	
	ウォーミングアップ、クーリングダウンは十分か	
	選手が稽古内容、稽古方法、稽古隊形を把握しているか	
	選手同士がぶつからないように間隔をとっているか	
	選手同士がぶつかりそうになったら大きな声で注意しているか	
	水分補給や休息は適切に取っているか	
	練習後は交通事故に気をつけ帰宅できたか	
環境 条件 等	湿気のため床は湿っていないか	
	風通しは良いか	
	地震・火災が起こったときの避難経路は確保されているか	
発令 アラート 対応	主催者や指導者がJアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか。	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか。	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか。	

反省・報告(事故、ヒヤリ・ハット含む)